

## 障害者支援施設「しあわせの里」の事業概要

### I 利用者の状況

しあわせの里は、平成23年4月1日に、障害者自立支援法の新体系（生活介護、施設入所支援）に移行しました。

在園者数については、平成28年3月末現在、施設入所支援を伴う生活介護を利用している方は50名（男性33名、女性17名）、生活介護を単独利用している方は7名（男性6名、女性1名）となっています。

市町村別状況については、6市6町に及んでいます。障害者総合支援法の改正の時期となり、これまでも増して各市町村との緊密な連携及び連絡・調整が欠かせないものとなっています。

※以下の表内における種別に関して、施設入所支援を伴う生活介護は「施+生」と、生活介護単独は「生活」と表記します。

#### ○市町村別入（通）所者状況

種別	市町	徳島市	鳴門市	小松島市	阿南市	吉野川市	阿波市	藍住町	板野町	北島町	石井町	那賀町	東みよし町	合計
	性別													
施+生	男性	12	7	2	2	1	3	2	1	0	1	1	1	33
	女性	5	2	0	3	2	1	1	2	0	1	0	0	17
	計	17	9	2	5	3	4	3	3	0	2	1	1	50
生活	男性	1	1	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	6
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	計	1	1	0	0	0	0	3	1	1	0	0	0	7
合計		18	10	2	5	3	4	6	4	1	2	1	1	57

施設入所支援を伴う生活介護利用者の平均年齢は、男性47.5歳、女性50.1歳で女性が男性より平均年齢が上回っています。50歳をこえた方が21名おり（13名が男性、8名が女性）、そのうちの男性1名、女性4名は還暦を過ぎ、高齢者に対する配慮や支援方法等にも工夫が求められています。

生活介護単独利用者の平均年齢は、男性34.3歳、女性40歳と、女性が男性より平均年齢が上回っています。

○年齢状況

種別	年齢 性別	18歳	26歳	31歳	36歳	41歳	46歳	51歳	56歳	61歳	66歳	合計	平均
		25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳			
施+生	男性	1	0	2	5	2	10	9	3	0	1	33	47.5
	女性	1	1	1	0	2	4	3	1	1	3	17	50.1
	計	2	1	3	5	4	14	12	4	1	4	50	47.8
生活	男性	2	0	0	2	2	0	0	0	0	0	6	34.3
	女性	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	40.0
	計	2	0	0	3	2	0	0	0	0	0	7	35.1
合計		4	1	3	8	6	14	12	4	1	4	57	46.8

施+生	最低年齢		最高年齢	
	男性	20歳	男性	67歳
	女性	25歳	女性	71歳

生活	最低年齢		最高年齢	
	男性	20歳	男性	45歳
	女性	40歳	女性	40歳

施設入所支援を伴う生活介護利用者については、療育手帳の判定では、A-49名（男性33名、女性16名）、B-1名（女性1名）となっています。

また、全員が20歳を超えており、49名が障害基礎年金を受給しており、1名は申請中です。1級-48名（男性31名、女性17名）、2級-1名（男性1名）です。

生活介護単独利用者については、療育手帳の判定は7名（男性6名、女性1名）全員がAとなっています。障害基礎年金は6名（男性5名、女性1名）が1級を受給しています。

知的発達の障害だけでなく、身体障害や視力障害など、多くの障害や特徴を有しています。

○障害の特徴

種別	内容 性別	肢体不自由	自閉性障害	統合失調症	視力障害	聴力障害	てんかん	ダウン症	代謝障害	脳性マヒ	脳炎後遺症	合計
		施+生	男性	6	15	1	4	2	14	2	1	
	女性	0	7	2	2	1	8	1	0	1	0	22
	計	6	22	3	6	3	22	3	1	5	0	71
生活	男性	1	3	0	0	0	3	0	0	1	1	9
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	3	0	0	0	3	0	0	1	1	9
合計		7	25	3	6	3	25	3	1	6	1	80

身体障害者手帳を交付されているのは、施設入所支援を伴う生活介護利用者については6名（男性6名）、生活介護単独利用者については1名（男性1名）です。

在園期間状況では、施設入所支援を伴う生活介護利用者で、満34年の者が14名（30%）、生活介護単独利用者では17年以上の者が4名（57%）になっています。

○在園期間状況

種別	性別	在園期間						合計
		3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満	20年以上	
施+生	男性	2	0	1	4	3	23	33
	女性	1	1	2	0	1	12	17
	計	3	1	3	4	4	35	50
生活	男性	2	0	1	0	1	2	6
	女性	0	0	0	0	0	1	1
	計	2	0	1	0	1	3	7
合計		5	1	4	4	5	38	57

利用前状況としては、施設入所支援を伴う生活介護利用者、生活介護単独利用者ともに支援学校を卒業して利用するケースが多いようです。

○利用前状況

種別	性別	前状況								合計
		家庭	支援学校	入所更生施設	通所更生施設	入所授産施設	通所授産施設	入所児童施設	その他	
施+生	男性	2	15	7	2	1	0	6	0	33
	女性	5	4	0	1	0	0	5	2	17
	計	7	19	7	3	1	0	11	2	50
生活	男性	1	4	0	0	0	1	0	0	6
	女性	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	計	1	5	0	0	0	1	0	0	7
合計		8	24	7	3	1	1	11	2	57

## II 利用者に対する支援と活動

人権尊重と権利擁護を利用者支援の基本に位置付け、利用者の主体性や意思を最大限尊重し、その人らしい暮らしができるよう利用者の目線や立場に立った継続性と一貫性のある支援と長期的な展望を見据えた支援を行いました。

利用者の人格を尊重し、意見や要望を十分に反映したサービス提供ができるよう、権利擁護意識の強化に努めました。また、行動障害が著しい利用者に対し、行動特性や環境を整理、分析し、効果的な支援方法の構築と実践を行うことで可能な限り社会に適応した活動的な生活が送れるよう支援しました。

さらに高齢化への対応として趣味や余暇活動を充実させ、生きがいのある暮らしを支援すると共に、身体機能変化の早期発見を心がけ、関係医療機関と連携しながら機能維持に着目した支援にも努めました。

### 1. 生活介護（日中活動支援）

利用者が心身ともに健康で豊かな生活が送れるよう支援マニュアルに基づき、本人の意思決定のもとサービス提供に努めました。また、利用者の障害特性を踏まえ、作業種目、活動種目を開拓し、創作活動、生産活動、文化・サークル活動を提供しました。さらに運動、創作、音楽療法等の機会を積極的につくり、体力や身体機能の維持増進と心のバランスが保てるように努めました。地域住民との交流や社会活動への参加も積極的に支援し、地域社会との関係を維持、拡充できるように努めました。

具体的な支援については次のとおりです。

#### (1) 日 課

<月曜日～金曜日>

	9:30	9:45		12:00	13:15		16:30	
	登	活	テ	昼	活	(	退	
	所	動	ィ	食	動	入	所	
			ー	休		浴		
			タ	憩		)		
			イ					
			ム					

<半日土曜日>

	9:30	9:45		12:00			16:30	
	登	活	テ	昼		自	テ	退
	所	動	ィ	食		由	ィ	所
			ー			活	ム	
			タ			動		
			イ					
			ム					

#### (2) 食事及び入浴

昼食に関しては、バイキングや選択方式、また、少人数で自分のペースに応じ食事を摂る「Aランチ」を実施しました。また、入浴は2カ所の浴室を利用し、ゆとりある安全な入浴支援を行いました。

##### ○ バイキング

利用者の嗜好調査を定期的に行い、人気の高いカレーライス、ラーメン等、利用者の希望に添っ

たメニューをたくさん取り入れました。バイキングは月1回、和食、洋食、中華等、利用者と共にメニューを決めながら食事の中にも季節感を感じてもらえるよう食材にも気を配りました。また、利用者の意見を聞くことでバラエティーに富んだ楽しい食事となっています。

○ Aランチ

男子職員1名と特別な支援や配慮を要する利用者を対象に、必要に応じた食事支援を行っています。また、より充実した食事支援となるよう、利用者を定期的に見直し、メンバーを入れ替えています。

○ 平日の昼食

ゆっくりと食事が摂れるように昼食時間に幅を持たせています。食堂に入る時間をグループ毎に調整することで、少人数での食事形態が取れるようにしています。昼食の時間帯になると各自判断して自主的に入室できる人が多くなり、個々の支援もゆとりを持って行えています。

○ わくわくランチ

居室のメンバーや男女を問わず、気の合った人達（利用者3～4名、職員1名）で楽しい昼食を摂っています。会話がはずみ和やかな食事タイムを楽しんだり、メンバーによっては、わくわくする期待感も味わうことができています。異なったメンバーと食事をする事により、普段と違う雰囲気味わうことができ、毎回希望者が増えてきています。

(3) 日中活動

利用者一人ひとりの目標や目的に合わせた活動の場を提供しました。

今年度は5グループに分かれて生産活動や創作活動を行いました。生産活動では個々の能力や特技を活かした作品作りや施設内外での販売、福祉展等のイベントにおける販売に積極的に参加しました。

また、創作活動においては利用者の要望を随時取り入れ、活動に変化を持たせました。体力や身体機能の維持増進と心に潤いが持てるように努めました。

◎ 手工芸

刺し子での作品作り、毛糸での作品作り、雑巾縫い、ビーズでの作品作りができるように支援しました。作品は「夢工房」「道の駅第九の里」で販売したり、看護学校バザーや福祉展、ドイチェスフェスト in 鳴門、道の駅バザーでも販売しました。販売状況は以下のとおりです。

委託先・その他	主 な 作 品	売 れ 筋
夢 工 房	刺し子（巾着、ひとめ刺し、手さげ、ポーチ） 雑巾、アクリルタワシ	刺し子巾着 刺し子手さげ アクリルタワシ
道 の 駅 「 第 九 の 里 」	刺し子（巾着、ミニ巾着、ポーチ、ひとめ刺し、花びん敷き） 縫製作品（ポーチ、ポケットティッシュカバー） アクリルタワシ、ビーズストラップ あみぐるみ、ヘアピン、髪ゴム、シュシュ、ホイッスル	ミニ巾着 アクリルタワシ ビーズストラップ
各 種 バ ザ ー 、 福 祉 展 等	刺し子（巾着、ミニ巾着、手さげ、ポーチ） 縫製作品（手さげ、ポーチ、ティッシュカバー、巾着） アクリルタワシ、雑巾、マグネット、ビーズストラップ リース、マフラー	アクリルタワシ 雑巾 手さげ、ポーチ ミニ巾着

参加者	男性5名, 女性9名
支援内容及びプログラム	(1) 刺し子, 縫製作品 (2) 雑巾の製作 (3) 編み物 (アクリルタワシ, あみぐるみ, マフラー, ポーチ) (4) 刺しゅう糸を使ってのミサンガ (5) ビーズストラップ (6) アイロンビーズマグネット
評価	利用者全員が作品作りに取り組めるよう工夫した。刺し子, 刺しゅう, 編み物の他にも, 利用者が花の形に並べたアイロンビーズのマグネットを作ったり, 絵を描くのが得意な人の絵を図案として新たな作品を作ったりした。また, 雑巾を縫う過程でタオルを表返ししたり, 巾着のひも通しをしたりと一部分でも行えるように支援した。 道の駅などに納品に行き売り場を見学したり, ドイチェスフェスト in なるるとに参加したりすることで意欲が高まり積極的な取り組みができた。

### ◎ 造 花

造花は「ちぎり」, 「組み立て」, 「確認作業」を行っています。

「ちぎり」は造花材料となるパーツとバリの部分に分けてちぎっています。「組み立て」は枝に葉や花を挿し仕上げます。「確認作業」は「ちぎり」や「組み立て」が正確に仕上げられているか確認しています。

材料の大きさや材質により全工程に参加できる利用者は少ないですが, それぞれが部分的に自分のできる工程に参加しました。

参加者	男性5名, 女性2名
支援内容及びプログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ちぎり作業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・製品とちぎりカスに分けて正確にちぎる。</li> <li>・ちぎり残しやカスが混じっていないか確認する。</li> <li>・ゴミが混入していたり, ホコリが付着していないか確認する。</li> </ul> </li> <li>○組み立て作業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・正確な組み立てを行うと共に, 多く仕上げていく。</li> <li>・床に落としたりゴミが混じらないよう, 適量の材料補充を行う。</li> <li>・準備, 片付けを自主的に行う。</li> </ul> </li> <li>○確認作業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちぎり終わった材料の中に, ちぎりカスやゴミが混じっていないか再確認する。</li> <li>・正確な組み立てができているか, ゴミ等が付着していないか再確認する。</li> <li>・最終確認, 数量, 袋詰めに関しては, 必ず職員が行う。</li> </ul> </li> <li>○清掃 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミやホコリが混入しないよう, 活動開始前と終了時にクリーナーを使用して掃除を行う。</li> </ul> </li> </ul>
評価	・全員が熱心に作業に取り組むことができた。「ちぎり」, 「組み立て」, 「確認作業」等, 利用者それぞれが得意な部分に参加した。苦手な工程にも積極さが見られるようになっており, 清潔な製品作りに対する意識もさらに強くなってきている。

◎ 園 芸

実習地での野菜や花の植え付け、栽培、収穫を支援員と一緒にやり、収穫物を家族会等で販売しました。また、収穫した野菜を使って調理実習を行いました。

参 加 者	男性 10 名
支 援 内 容 及 プ ロ グ ラ ム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○園芸作業           <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備, 耕運, 畝作り, マルチ掛け, 施肥, 支柱立て, 水やり, たい肥作り</li> <li>・除草, 生育管理, 収穫</li> <li>・種まき, 植え付け (ピーマン, キュウリ, ナス, オクラ, スイカ, ホウレンソウ, ミズナ, ブロッコリー, キャベツ, ニンニク, メキャベツ, タマネギ, サツマイモ, ジャガイモ, ダイコン, カブ, スナップエンドウ, エダマメ)</li> <li>・花壇の管理 (除草, 水やり, 施肥, 移動)</li> <li>・種まき, 植え付け (ヒマワリ, スイセン, コスモス)</li> </ul> </li> <li>○屋外活動           <ul style="list-style-type: none"> <li>・園外歩行, 樹木の剪定, 園庭整備, 園庭土入れ</li> </ul> </li> <li>○屋内活動           <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコバック作り, 収穫物の調理</li> </ul> </li> </ul>
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度より新しく 1 名の利用者が参加。積極的に園外へ出ることで活動に取り組むよう支援した。野菜の植え付けから収穫までを行ってもらい、販売したり、獲れた野菜を調理して食べることで園芸への楽しみややりがいを感じられるよう支援した。</li> <li>・近隣の保育園児を招待し、ジャガイモ、サツマイモ掘り交流を実施した。また、近所の方に収穫した野菜を食べていただくなど、地域との関わりを持つようにした。</li> <li>・各種バザーにて、生育した苗や収穫した野菜の出品、販売を行った。</li> </ul>

◎ 加 工

近隣の野山や川原で採取したり、保護者の協力により集められた材料を加工して「よもぎ」「どくだみ」「みかん」の入浴剤づくりに取り組みました。

参 加 者	男性 6 名, 女性 2 名
支 援 内 容 及 プ ロ グ ラ ム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○よもぎ入浴剤づくり           <ul style="list-style-type: none"> <li>・よもぎの採取, 陰干し</li> <li>・裁断, 天日干し</li> <li>・選別, 粉砕</li> <li>・計量, パック詰め, シーリング (口止め), 袋詰め</li> <li>・外装, カード印刷</li> </ul> </li> <li>○どくだみ入浴剤づくり           <ul style="list-style-type: none"> <li>・どくだみの採取, 陰干し</li> <li>・裁断, 乾燥, 粉砕</li> <li>・計量, パック詰め, シーリング (口止め), 袋詰め</li> <li>・外装, ラベル印刷</li> </ul> </li> <li>○みかん入浴剤づくり           <ul style="list-style-type: none"> <li>・果皮を乾燥し粉砕</li> <li>・計量, パック詰め, シーリング (口止め), 袋詰め</li> <li>・外装, ラベル印刷</li> </ul> </li> </ul>

支援内容及びプログラム	○ウォーキング ・材料採取を兼ねて近隣を歩いた。 (板東谷川, ドイツ村公園, リューネの森, 鳴門西PAなど)
評価	・それぞれの利用者が, 入浴剤づくりの工程の中で専門的に取り組む役割分担を設け, 技術の習得と意欲の向上を支援した。 ・生産した入浴剤は, 各種バザーや「道の駅」「夢工房」で販売するとともに, 施設内でも定期的に使用している。

◎ 総合生活支援グループ

利用者一人ひとりに応じたプログラムでの支援を行いました。地域交流センター多目的ホールと1階活動室を利用しました。

参加者	男性13名, 女性5名
支援内容及びプログラム	○屋外活動 ・歩行……ドイツ村公園, ドイツ館, 菩提樹の森, 大麻比古神社, リバーサイドパーク in BANDO, ばんどうの鐘 ・ドライブ…ウチノ海公園, 鳴門スカイライン, 鳴門公園, 妙見山, 板野歴史公園, 月見ヶ丘海浜公園 ○屋内活動 ・ホール内の歩行, 階段昇降, ラジオ体操, マッサージ, ストレッチ, トンネルくぐり, バランスボール等の身体活動 ・各種教材…ペグ, ブロック, パズル, ビーズ通し, 文字書き, 絵描き, ぬり絵, シールはがし等 ・エコ活動…ペットボトルのキャップはずし, 潰し, アルミ缶のプルタブ集め, 潰し ・広告, 新聞の箱折り ・足浴(冬)…身体を温め血液の循環を良くする ○清掃活動 ・園周辺道路のゴミ拾い, 清掃 ○生活支援 ・身支度……靴, 帽子, 上着の着脱, 整理, 収納 ・清潔……手洗い, 着替え ・排泄……排泄支援, 記録 ・環境整備…活動の準備, 片付け
評価	・屋外活動では, 基礎体力・脚力の維持や強化を目標とした長距離グループは歩行距離を延ばしたり, 階段昇降等アップダウンのあるコースを状況に応じて選択し実施した。短距離グループは四季の草花を見て楽しむなど, 情緒の安定を目的に脚力維持に努めた。気分転換や安定をはかるためドライブも実施した。 ・屋内活動では, ホール内の歩行, ラジオ体操, ストレッチ等で身体を動かし, その後, 個々に応じた活動を工夫し個別の支援を行った。 ・広告や新聞を利用しての箱折り等を行う。実際に使われているのが励みとなり, 積極的に取り組めるようになっている。

◎ 作業工賃の支給

作業収益金は全額還元を原則としています。



(4) 文化・サークル活動

ボランティアや地域の資源を活用し、豊かで潤いのある時間が過ごせるような支援を行いました。自分に興味のあるサークルでボランティアの人達と交流、経験を重ねることで技術面や精神面の成長だけでなく、それぞれの利用者にとって生きがいとなっています。

◎ スポーツ

毎週水曜日の午前中に、地域のグラウンドを借りてグラウンドゴルフを実施しました。また、脚力強化を目的とした2キロ～3キロのウォーキングにも取り組みました。

雨天時には地域交流センターでフライングディスク、ペットボトルボーリングを実施しました。

指 導 者	支援員6名
参 加 者	男性8名、女性2名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本練習（グラウンドゴルフ） 打撃練習、リング打ち込み、用具準備、片付け</li> <li>・競技（個人戦） 競技内でのマナー、ルールを理解、競技していく上での自主的な行動力の育成</li> <li>○基本練習（フライングディスク） ディスク飛法、リング通過、用具準備、片付け</li> <li>・競技（個人戦） 競技内でのマナー、ルールを理解</li> <li>・競技（団体戦） チームワークの大切さ、助け合い思いやりの精神の育成</li> <li>○基本練習（ペットボトルボーリング） ボーリングの準備、片づけ、ルールを理解</li> </ul>
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本練習を通して、ルールやマナーを守りながら技術の向上を図り、実際のスポーツ施設での活動为目标としてサークル活動に取り組んだ。</li> <li>・利用者の年齢も高くなっていることもあり、活動に長距離歩行を取り入れ、脚力維持に努めた。</li> <li>・夏期には、地域のグラウンドの除草作業を全員で定期的に行い、大切に使用することができた。</li> </ul>

◎ 生 花

毎月第2・第4木曜日にボランティアの先生のご指導を受け、楽しんで生けました。

指 導 者	坂東 良子氏
参 加 者	男性2名、女性1名
内 容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 準備（花器、花ばさみ、筆記用具等）</li> <li>2. 組花、花器の選択</li> <li>3. 挨拶</li> <li>4. 花を生ける（はさみの使い方を知る、花の高さや位置を考える）</li> <li>5. 復習（花の名前の筆記、生けた花の筆記）</li> <li>6. 片付け、清掃</li> <li>7. 挨拶、終了</li> </ol>

評 価	ボランティアの先生のアドバイスを受け、花材の色や形、香りを楽しみながら生けています。個々の感性が発揮されており、完成した作品を園内に飾ることも楽しみや励みになっています。
-----	---

◎ 茶 道

毎月第2・第4木曜日にボランティアの先生のご指導のもと、茶道の稽古を行っています。

指 導 者	坂東 良子氏
参 加 者	男性1名, 女性4名
内 容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 席入り（おじぎの仕方, 歩き方）</li> <li>2. 挨拶</li> <li>3. 略式盆点前のお稽古</li> <li>4. ふくささばき</li> <li>5. なつめの扱い方</li> <li>6. お茶の立て方</li> <li>7. お菓子の頂き方</li> <li>8. 薄茶の頂き方</li> <li>9. 退室（おじぎの仕方, 立ち方, 歩き方）</li> </ol> 〈お茶会〉 5月 藤見のお茶会 7月 七夕のお茶会 3月 ひなまつりのお茶会
評 価	ボランティアの先生のご指導のもと、お作法の向上を目指して練習してきた。日頃の成果をお披露目するために、利用者どうしで助け合い、協力して季節のお茶会を開催した。

◎ 習 字

毎週火曜日にボランティアの先生のご指導のもと、習字の練習に励んでいます。

指 導 者	山田 準一氏
参 加 者	男性1名, 女性3名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備, 後始末の方法</li> <li>・正しい姿勢と筆の持ち方</li> <li>・筆の扱い方</li> <li>・字形の取り方</li> <li>・漢字の読み方, 筆順</li> <li>・字の持つ意味</li> </ul>
評 価	利用者の技術に合わせた基本の文字をお手本に、楽しく練習に取り組んでいる。今年は特に筆の運びが上手にできるよう、学びながら文字の成り立ち等も教わった。作品は各種展示会やしあわせの里展等に出品しており、見学の際には他の人の作品を見ることで刺激を受け、意欲の向上にもつながっている。また、先生の話をお聴いたり作品を見せていただくことも楽しみのひとつになっている。

◎ 絵 画

月2回、木曜日に町内の絵画教室に通い、水彩画を中心に、パステル画、アクリル画などを描

いています。

また、不定期で、「鳴門市老人趣味の作業室」にて、在宅の障害児らと一緒に油絵具、水彩絵具、クレパス、墨など、様々な画材を用いて創作活動をしています。

指 導 者	河野 公子氏
参 加 者	男性3名, 女性1名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画題 静物（花、野菜、果物、置物など） 抽象画 人物画 模写（画集や絵本、写真を見て描く）</li> <li>・発表の場 エナジー展、鳴門市展、鳴門市文化展、大麻町文化作品展、鳴門市手をつなぐ作品展、鳴門市人権文化祭など。 ○「しあわせの里展」9月2日～4日 ヨンデンプラザ徳島 2階よんでんギャラリーにて開催</li> <li>・展覧会の見学</li> </ul>
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者から利用者の個性を尊重した指導を受けることで、のびのびと楽しく描くことができ、個性的な作品が描けている。</li> <li>・各種展覧会の見学に出かけることで、社会参加の機会が持てるとともに、他の人の作品を鑑賞することで創作活動への意欲を増すことができた。</li> </ul>

◎ 調理実習・おやつ作り

9名のメンバーが4グループに分かれての調理実習を行い、調理・食事を楽しみました。また、手作りおやつを一緒に作り盛り付け提供し、利用者全員に食べていただきました。

参 加 者	男性4名, 女性5名
内 容	<p>4月 (献立) おにぎり・焼そば・サラダ・プリン カレーライス or カレーうどん・ハムサラダ・コーヒーゼリー</p> <p>5月 (献立) おにぎり・お好み焼き・野菜サラダ・プリン</p> <p>6月 (献立) おにぎり・焼そば・ポテトサラダ・プリン オムライス・スパゲティサラダ・コーンスープ・コーヒーゼリー (おやつ) チーズ入り人参蒸しパン</p> <p>7月 (献立) ロールパン・ミートスパゲティ・フレッシュサラダ・プリン</p> <p>8月 (献立) カツカレー・野菜サラダ・プリン (おやつ) カロリーメイトにトッピング</p> <p>9月 (献立) カレーライス・野菜サラダ・プリン カレーうどん・ハムサラダ・プリン</p> <p>10月 (献立) カツ丼・味噌汁・スパゲティサラダ・プリン (おやつ) パウンドケーキ (プレーン・バナナ・チョコチップ)</p> <p>11月 (献立) おにぎり・すきやき・プリン ピリ辛味噌鍋・ミルクわらびもち (おやつ) 大学芋</p>

内 容	12月 (献立) とんこつ鍋・おにぎり・プリン オムライス・スパゲティサラダ・プリンア・ラ・モード  1月 (献立) (おやつ) リンゴのケーキ 2月 (献立) おにぎり・煮込みラーメン・プリン おにぎり・中華風寄せ鍋・コーヒーゼリー 3月 (献立) おにぎり・お好み焼き・ハムサラダ・プリン ハヤシライス・ハンバーグ・春雨サラダ・プリン (おやつ) ひなまつりゼリー
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しく3人のメンバーが増え、今までのメンバーの組み合わせを入れ替え、調理・喫食を行った。また、調理サークル以外の他の利用者を一人ずつ招待することで新たな楽しみも増え、喜ばれた。</li> <li>・おやつ作りでは、どんなおやつが出来上がるか楽しみにしながら作る事ができた。</li> </ul>

◎ 音楽活動

ミュージック・ケアを通して音楽に親しみました。

参 加 者	全利用者を対象とし、1回のセッションで10～20名の利用者が参加。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回のセッションは1時間程度</li> <li>・ミュージック・ケアの基本曲(30曲)や、その他にミュージック・ケアで使われている曲、リラクゼーションの曲を使用し、プログラムを立てる。(1回のセッションで10～15曲前後)</li> <li>・使用している楽器や道具は            楽器…鈴、鳴子、タンバリン、太鼓、バチ            その他の道具…フラップバルーン、チューブ、スカーフ、カゴリン、ボール            クールダウンに使用…シャボン玉、フィンガーシンバル、レインスティック、            オルゴール</li> <li>・うたをうたう</li> </ul>
評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者一人ひとりの表情や動きを見ながらプログラムを進めて行けるように少人数グループでのセッションも実施した。音楽を通して一人ひとりに関わりを持つことができた。</li> <li>・利用者それぞれに好きな曲や楽器がありリクエストも聞かれるなど、積極的な参加姿勢を見ることができた。</li> </ul>

※音楽活動は、10回の実施でした。

そのうち2回は、四国大学短期大学部音楽科の学生が音楽療法実習で音楽セッションを行いました。

○ 年間行事等への参加状況

月別	行 事 名
4 月	・開園記念昼食会 ・お花見 ・草の実まつり見学
5 月	・春期帰省 ・藤見のお茶会 ・鳴門市文化展出展 ・鳴門市チャレンジデー ・板東小学校運動会
6 月	・じゃがいも掘り交流
7 月	・七夕 ・道の駅9周年まつり
8 月	・サマーフェスタ（夏祭り） ・夏期帰省
9 月	・しあわせの里展 ・桧東敬老会
10 月	・キャンプ ・鳴門市展 ・ドイチェスフェスト in なんと ・東徳島看護バザー ・大麻地区社協交流ウォーク ・鳴門看護バザー ・エナジー 2015 ・ゆうあいスポーツ愛媛大会
11 月	・大麻比古神社祭り見学 ・大麻町文化作品展 ・さつま芋掘り交流 ・秋のふれあいまつり ・鳴門市人権文化祭 ・賀川豊彦記念館チャリティーウォーク
12 月	・クリスマス会 ・冬期帰省
1 月	・新年のお茶会 ・日帰り旅行
2 月	・徳島市障害者福祉展 ・節分（豆まき）
3 月	・ひなまつり ・一年のまとめ（ふれあい昼食会）

## 2. 施設入所支援（夜間、休日支援）

生活の場として、より安全で快適な環境の提供に努めました。また、集団生活の秩序を維持しながらも可能な限り利用者の意思を尊重するとともに、家庭的な雰囲気の中で安心してゆとりのある生活ができるように配慮しました。さらに個々に合わせた食事・快適な入浴・安全な移動・プライバシーに配慮した排泄・安全で快適な環境等、年齢や障害特性を考慮した日常生活上の支援を行いました。また、夜間においては、十分な睡眠がとれるようやすらぎの空間を確保するとともに、利用者の心身の変化にも細心の注意を払いました。

### (1) 日 課

<平 日>

	6:30	7:40	8:30	9:45					16:30	17:40			21:00			
就 寝	起床・ 支度	朝 食	職員 朝会	ふれあ い	生 活 介 護 (日中活動支援)				清 掃	ふれあ い	夕 食	自 由 時 間	テ ィ ー タ ィ ム	自 由 時 間	消 灯	就 寝

<休 日>

	6:30	7:40		9:45		12:00		15:00		17:40			21:00				
就 寝	起床・ 支度	朝 食	ふれあ い	自 由 時 間	職 員 朝 会	自 由 時 間	昼 食	自 由 時 間	テ ィ ー タ ィ ム	清 掃	自 由 時 間	夕 食	自 由 時 間	テ ィ ー タ ィ ム	自 由 時 間	消 灯	就 寝

### (2) ゆとりある生活のための支援

#### ① 食 事

##### <1> セルフランチ

毎日の食事はセルフサービスの形式で利用者を3グループに分け、ゆとりある空間で食事ができるように配慮しています。

##### <2> ファミリーランチ

居室単位で同室利用者や担当職員と一緒に昼食を摂っています。自分たちの部屋や、あるいはラウンジなどへ食事を運び、おしゃべりを楽しみながら和やかな時間を過ごしています。食後のティータイムも楽しみの一つとなっています。

#### ② ゆとりとやすらぎ

##### <1> かたらい

毎週土曜日、男性2名または女性2名の方が本人の希望により、かたらいを実施しています。PM 9:00～PM 11:00までの間、談話室を利用してテレビを見たり、事前に自分で購入した飲み物やお菓子で楽しいひとときを過ごしています。参加者全員が月1回の「かたらい」を楽しみにしています。

## 〈2〉 やすらぎティータイム

毎月1回、午後にティータイムの時間を設けています。事前に3～5種類のおやつの写真を見て、食べたい物を選んでいきます。当日は、好きな飲み物を入れ、テレビをみたり音楽を聴きながらゆったりとしたひとときを楽しんでいます。

## 〈3〉 パンの移動訪問販売利用

毎月1回、パンの移動訪問販売を利用しています。それぞれが好みのパンを店頭購入し、ティータイムを楽しんでいます。

## 〈4〉 余暇の提供

個々の希望に応じた雑誌やパズルや塗り絵などを購入したり、好みのDVDや録画した番組を提供することで充実した余暇が過ごせるよう配慮しました。また、自由に過ごせる娯楽室を活用したり、プロジェクターによる定期的なDVD上映会を開催しています。それぞれが好きな方法で提供した余暇を楽しんでいます。

## 〈5〉 生活の日

今年度は毎月第1火曜日を生活の日と決めました。衣替えの季節には生活担当職員と共に部屋の片付けをしたりドライブや買い物を楽しんだり、普段の活動とは違ったことをして過ごしました。また、園内の清掃や片付けも行いました。

### (3) 社会性を広げるための支援

#### ○ 余暇活動

利用者の希望をききながら、都度外出を計画し、少人数で実施しました。

参加者	利用者 58名
内容	※回数・参加人数（延べ数） ・ドライブ……15回、55名 ・喫茶、食事……20回、70名 ・ショッピング……28回、87名 ・その他……26回、89名
評価	外食、買い物等の希望が多く、それ以外にも美容院利用、作品展見学、募参り、カラオケ、動物園等の希望があった。希望や目的に添った外出を実施することで気分転換を図り、生活にも潤いを持つことができた。

### 3. 健康管理と保健活動

日々の検温と日常生活の観察を通して、個々の健康状態の把握に努めました。

日常的な感染予防対策として、手洗い・うがい・手指消毒・棟内消毒掃除を実施することで、インフルエンザ・ノロウイルスなど感染症の予防、蔓延防止に努めました。

#### (1) 健康診断の実施

健康診断、各種検診を計画、実施し、疾病の早期発見に努めました。

また口腔の不衛生により、様々な疾病につながっていくこともあり、口腔ケアの必要性・重要性を考え、定期的な歯科検診・歯科医師会による巡回健診・歯科衛生士によるブラッシング指導を実施しました。

#### (2) 各疾病の治療

慢性疾患の利用者については、定期的を受診し検査を受ける事で、疾病の状況を把握し正確に伝達して、医師による必要な生活指導や医療相談を通し、嘱託医とスムーズに連携を図ることができました。

感染症に罹患した利用者については、早急に医療機関を受診し、適切な看護・対処をしたことにより、重症化・蔓延を防ぐことができました。

#### (3) 環境衛生と保健指導

日頃からの手洗い・うがい・手指消毒の励行に努め、必要に応じてマスクの着用を行っています。

また、園内外・居室の清掃や消毒、日々の衣類交換、寝具干し等、基本的な日常生活の環境衛生を心がけました。

#### (4) 生活習慣病対策

定期的に体重測定や血圧測定を行い、また、年齢や必要に応じて血液検査を受ける事により、栄養状態や健康状態を把握し、医師の指導の下、生活習慣病の予防に努めました。

#### (5) 保護者との連携

継続的に服用中の内服変更時は、速やかに情報提供を行い、理解が得られるように努めています。

個々に応じて捕食等必要な場合は、都度、保護者と相談しながら方針を決めていきました。精密検査が必要な場合は、利用者・保護者に対し十分に説明を行い、共に通院に付き添ってもらうことにより、直接医師の説明を聞くことで、連携や協力を得ることができました。



○ 月別通院状況

科	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科		7	2	7	27	6	4	16	3	18	20	8	3	121
精神・神経科				1						4				5
外 科			2	1					1	1	2			7
整形外科			2		1	1	2	1				1	1	9
耳鼻咽喉科					1	1								2
歯 科		10	12	18	8	5	27	19	5	17	13	9	18	161
婦 人 科		1	1			1			10			1		14
眼 科		2	1	1	1	3		3	1	1	2	1	1	17
皮 膚 科							1	1					1	3
泌尿器科		4		2	4	1		4			4		4	23
そ の 他						1							1	2
計		24	20	30	42	19	34	44	20	41	41	20	29	364

○ 月別保健活動

4 月	園内検診	10 月	園内検診
	細菌検査		細菌検査×2
5 月	園内検診	11 月	園内検診
	細菌検査		細菌検査
6 月	園内検診	12 月	インフルエンザ予防接種
	皮膚科検診		ブラッシング指導
	細菌検査×2		園内検診
	健康診断		細菌検査
7 月	害虫駆除	1 月	棟内消毒
	園内検診		園内検診
	眼科検診		細菌検査
	耳鼻科検診	棟内消毒	
	歯科検診	2 月	園内検診
細菌検査×2	内科検診		
8 月	園内検診	3 月	細菌検査
	細菌検査×2		棟内消毒
9 月	園内検診	3 月	園内検診
	細菌検査×2		細菌検査
			棟内消毒

## 4. 栄養管理と食生活

栄養状態の維持、改善を図りながら利用者のQOLを高め、個々の身体状況や生活習慣を把握し、各人の特性を考慮した食事が提供できるように努めました。

### (1) 献立作成

利用者の身体状況、特性を把握し、嗜好に合わせながら季節感や彩りも考慮し、適切な熱量及び各種栄養素を満たした献立を給食委託業者と共に作成しました。

また、献立名や主な栄養成分を記載した献立表を掲示して、利用者に食に関する情報を提供しました。

### (2) 調理業務と食材の管理

調理開始時間や調理器具、食材の検収、保存食等の管理を正確に実施し、日々の連絡を密にしながら調理業務を給食委託業者に依頼しました。

### (3) 衛生管理

食中毒等の給食事故防止のため、調理従事者の衛生意識の向上や拭き取り検査、厨房内外の衛生管理を徹底し、衛生管理マニュアルに基づいた点検表の記録の整備も確実に行いました。

### (4) 個別食事サービスの提供

医師の指示による食事箋を基にした療養食や、利用者個々人に応じた減量食やアレルギー食、咀嚼・嚥下等口腔機能に合わせた食事形態や嚥下食など、身体状況や特性に合わせた食事が提供できるように配慮しました。

### (5) 食事環境

時間差制を取り入れ、温かい食事がゆっくり摂れるよう環境を整えました。

### (6) 食事委員会

他職種と給食委託業者を交えた食事委員会を開催し、食事に関する諸問題を検討・改善し食環境を整備しました。また、利用者にも参加して意見を出して頂くことで、意見・嗜好を取り入れたり、バイキングでは、毎月順番に居室バイキングを実施することでゆっくりと食事ができ楽しむ事ができました。

### (7) 栄養ケアマネジメント

利用者の栄養状況や特性を理解し、他職種と協働しながら的確な栄養管理と食事支援を実施することで、利用者の食生活の質の向上に努めました。

平成27年度 栄養価算定表(月別)

月	エネルギー	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	レチノール当量	VB1	VB2	V C	食塩	炭水化物エネルギー比	脂質エネルギー比	動物性蛋白質比
	kcal	g	g	mg	mg	μg	mg	mg	mg	g	%	%	%
4	1924	75.3	53.5	634	11.2	763	1.06	1.08	113	9.7	59.3	25.0	53.0
5	1930	75.8	53.2	651	10.6	850	1.03	1.09	105	9.0	59.5	24.8	52.6
6	1927	73.6	50.5	646	10.8	790	1.02	1.07	97	9.6	61.1	23.6	50.7
7	1898	73.0	51.0	604	10.6	793	0.99	1.09	103	9.4	60.4	24.2	52.7
8	1922	74.9	51.8	632	10.4	768	1.08	1.07	106	9.3	60.1	24.3	45.8
9	1904	72.8	50.2	615	10.9	771	0.98	1.04	102	9.5	61.0	23.7	52.7
10	1937	75.1	52.0	630	10.8	806	1.04	1.08	100	9.7	60.3	24.2	52.5
11	1935	75.6	52.5	636	9.6	808	1.10	1.10	106	9.3	60.0	24.4	52.0
12	1953	75.5	52.4	636	11.4	779	1.04	1.08	111	9.3	60.4	24.1	53.1
1	1925	74.8	50.6	616	11.0	740	1.07	1.11	104	9.4	60.8	23.7	53.3
2	1953	75.5	54.1	682	11.0	734	0.97	1.08	104	9.3	59.6	24.9	53.1
3	1897	74.7	50.3	641	10.6	772	1.09	1.06	100	9.1	60.3	23.9	51.8
合計	23105	896.6	622.1	7623	128.9	9374	12.47	12.95	1251	112.6	722.8	290.8	623.3
平均	1925	74.7	51.8	635	10.7	781	1.04	1.08	104	9.4	60.2	24.2	51.9

## 平成27年度 摂取食品量 (月別)

単位: g

食品群名		月												合計	平均
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
穀類	米	205	203	210	206	203	210	205	206	205	210	205	202	2470	206
	パン	33	34	30	35	35	30	31	33	38	33	34	35	401	33
	穀類	36	38	41	31	42	40	43	34	38	36	38	32	449	37
	他・穀類	5	4	6	5	6	7	7	3	4	5	7	6	65	5
芋類	さつまい	7	8	13	8	5	8	9	8	13	7	13	7	106	9
	じゃが芋	28	29	35	30	27	24	30	32	26	25	21	31	338	28
	他の芋類	23	24	20	22	26	22	33	25	27	32	28	25	307	26
	芋加工品	3	3	3	2	3	1	3	3	3	3	3	3	33	3
豆類	大豆製品	44	53	54	40	67	36	49	60	40	34	39	45	561	47
	他の豆類	4	4	4	3	5	7	4	7	8	8	6	7	67	6
	みそ	17	16	17	17	18	17	19	16	18	17	17	16	205	17
野菜・果実類	緑黄野菜	153	165	147	149	158	149	141	152	148	142	137	145	1786	149
	他の野菜	243	229	226	235	233	225	228	233	237	236	229	236	2790	233
	乾燥野菜	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	14	1
	つけもの	7	7	6	6	7	7	6	8	7	6	8	6	81	7
	柑橘類	10	10	8	5	8	6	5	15	22	21	11	11	132	11
	他の果実類	19	19	19	24	21	22	15	22	20	13	16	14	224	19
	加工品	12	13	5	6	8	8	7	13	10	8	11	13	114	10
	きのこ類	13	18	19	11	14	15	17	17	12	16	13	12	177	15
	藻類	4	5	6	4	6	5	5	4	6	6	6	4	61	5
動物性食品	魚介類	54	48	47	53	49	49	51	41	52	48	52	45	589	49
	干・缶・塩	8	6	7	11	6	8	8	6	8	8	8	8	92	8
	練り製品	13	17	17	14	17	16	20	19	18	19	17	19	206	17
	肉類	76	77	67	59	72	73	64	84	72	73	69	76	862	72
	加工品	10	11	10	10	11	8	10	9	11	11	8	8	117	10
	卵類	17	23	21	26	23	20	26	22	22	26	17	22	265	22
	牛乳	205	207	208	206	203	203	210	205	206	187	202	202	2444	204
	乳製品	4	6	4	4	1	4	3	5	4	5	11	5	56	5
調味料・油脂類	砂糖	7	6	8	7	7	6	8	8	7	8	8	8	88	7
	種実類	1	1	1	1	1	1	3	3	1	1	1	1	16	1
	油脂類	7	6	6	7	8	7	7	6	6	5	6	5	76	6

## 5. 地域交流

施設と地域との交流を推進し、利用者の生活の質の向上と施設のサービス機能の充実・向上に努めました。また、地域の学校及び各種団体との交流で、施設への理解が得られるよう取り組みました。

### (1) 施設プログラムへの地域の人々の参加

- サマーフェスタ（夏まつり）
- 芋ほり交流
- クリスマス会

### (2) ボランティアの導入

各種の技術・技能の指導援助を受けています。

- 茶道・生花（第2・第4木曜日）
- 絵画（月2回）
- 習字（毎週火曜日）
- 東邦テナックス労働組合徳島支部より除草ボランティア
- 徳島県生活衛生営業指導センターより理容奉仕

### (3) 利用者による社会活動及び地域行事への参加

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| ○ドイチェスフェスト in なんと | ○エナジー 2015 見学 |
| ○鳴門市手をつなぐ作品展      | ○大麻地区社協交流ウォーク |
| ○近隣道路の除草、ゴミ拾い     | ○鳴門市人権文化祭     |
| ○一般社団法人 NICE      | ○敬老プレゼント      |
| みんなの健康エクササイズ      | ○チャリティーウォーク   |

### (4) 福祉教育の推進

- 板東小学校運動会

## 6. 危機管理と防災対策

しあわせの里消防計画、しあわせの里地震防災応急計画並びに施設防災規定等に基づき、災害や事故等から利用者及び職員の生命を守るため、各種防災訓練を実施しました。また、災害等による事故を未然に防止し、建物及び防災設備を保全するために自主点検と防災指導を行いました。

危機管理については、事故報告書等を有効に活用するとともに、施設内の修繕箇所について適時修繕することで、利用者の日々の生活が安全で快適なものにできるよう努めました。

### (1) 危機管理

事故等の発生については、事故報告書及びヒヤリハット報告書を提出し、事故等について綿密な分析、早期改善を図ることにより、事故等の予防、再発防止に努めました。また、施設内外の全般的な

営繕と保全に努め、危険箇所について早期改善を図りました。

## (2) 防災訓練の実施

毎月避難訓練を実施しました。出火場所や時間の想定を変更して実施することでより実効性のある訓練となるように努めました。あわせて通報訓練、救護訓練、消火訓練を含めた総合訓練も行いました。

月 別	訓 練 内 容	月 別	訓 練 内 容
4 月	避 難	10月	避 難
5 月	避 難 (夜間想定)	11月	総 合 (避難・通報・消火)
6 月	避 難	12月	避 難 (夜間想定)
7 月	避 難 (休日想定)	1 月	避 難 (消 火)
8 月	避 難	2 月	総 合 (避難・通報)
9 月	総 合 (避難・通報・救護)	3 月	避 難

## (3) 定期点検の実施

消防用設備及び自動火災通報装置、パッケージ型自動消火設備は契約業者による定期点検を行いました。

また、月 1 回建物内外の安全点検と消防用設備等の自主点検を職員が行う事で、火災報知器及び非常火災通報装置、パッケージ型自動消火設備等の機能及び操作方法の習得を図りました。

## (4) 防災教育の推進

年度当初に防災対策、安全対策、自主消防隊等に関する文書を全職員に配布し、周知徹底を図るとともに、防災意識の高揚に努めました。

## (5) 地震対策

地震発生時の事故を防止するため、各居室スペースの家具等の固定、避難経路における障害物の撤去等を随時行い、より安全な生活が確保できるよう努めました。また、被災した際、適切な対応を行えるよう生活用品や食料等の備蓄品、資機材等の整備、点検、交換を行いました。

施設外との協力体制については、近隣法人（障害者施設）間で「大規模災害時等相互応援協定」を結び、災害発生時にはそれぞれの施設が協力し救助活動に当たるとともに、資機材や医薬品の提供、食料や飲料水の供給、また、復旧活動等に必要の職員の派遣、被災施設の利用者の一時受け入れ等を行う体制づくりを整えている。今年度は、しあわせの里が担当法人となり、「福祉・医療施設のBCP作成研修会」を開催し、其々の法人（施設）の防災知識のレベルアップを図るとともに、大規模災害時等相互応援協定法人（施設）間での情報交換を行う事で相互理解を深めました。

## (6) 事業継続計画（BCP）の作成

しあわせの里事業継続計画（BCP）を作成する事により、大規模災害発生の際、法人（施設）が受ける被害を最小限に抑えられるよう防災対策に努めました。

## 7. 保護者との連携

保護者と施設が連携し、相互の理解を深め、利用者の立場に立った支援を行うよう努力しました。

### (1) 月だよりの発行

毎月「しあわせ」を発行し、利用者の生活・活動状況、行事等について周知しました。

### (2) 家族会の開催

定例家族会（毎月15日）と、その後の職員との懇談を実施し、保護者間の交流と施設との相互理解と信頼を深め、より良い利用者の生活向上に努めました。

#### ○ 家族会参加状況

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
出席者数	35名	39名	38名	35名	34名	38名	35名
月別	11月	12月	1月	2月	3月	計	
出席者数	35名	37名	35名	39名	37名	437名（平均36名） 出席率63.8%	

### (3) 保護者研修等の実施

- ① 徳島県保護者会連合会総会（徳島市 県立障害者交流プラザ，6月29日）
- ② 徳島県保護者会連合会特別研修会（ホテルクレメント，10月2日）
- ③ 徳島県保護者会連合会北部ブロック研修会（草の実学園，12月11日）

### (4) 施設（法人）行事への協賛、参加

- ① サマーフェスタ（8月11日）
- ② しあわせの里展（9月2日～4日）
- ③ 秋のふれあいまつり（11月16日）
- ④ クリスマス会（12月23日）

### (5) 家族会単独事業の実施

園内清掃（5月13日，11月11日，12月1日，12月11日，12月16日，2月10日，外部業者委託）

### (6) 交流事業の実施

ふれあい昼食会（3月15日，食事会）

### (7) その他の事業への協賛・参加

ふれあい健康館で開催された徳島市障害者福祉展に参加し、地域社会や関係団体との交流を図りました。

### Ⅲ 職員の資質の向上と職員研修

利用者のニーズに沿ったサービスを提供できるように専門的な知識を習得し、重度高齢化等に伴う支援技術を高められるよう努めました。効率よい業務遂行のため職員間のコミュニケーションや話し合いを行いチーム力を育て、意識改革や倫理観を高める研修を行っていきましました。また各種実習の受け入れを積極的に行い、社会福祉に貢献できるよう努めました。

#### 1. 職員研修

##### (1) 園内研修

- ・全職員対象園内研修（救急救護法・虐待防止等・新人職員育成）、各種委員会による検討会議、ケース会議、各種研修報告
- ・職員が倫理意識を持ち、権利擁護に努めるための研修（虐待防止自己チェックの実施とその話し合い）

##### (2) 園外研修

徳島県社会福祉協議会、徳島県知的障害者福祉協会及び各種機関などが主催する研修会への参加

#### 2. 施設実習

- (1) ボランティア体験実習
- (2) 国府支援学校体験実習
- (3) 鳴門支援学校体験実習（学校見学訪問）
- (4) 板野支援学校体験実習
- (5) 四国大学保育・音楽実習
- (6) 文理大学保育実習
- (7) 福祉職場体験実習
- (8) 介護等体験実習

### Ⅳ 短期入所事業利用者に対する支援と活動

短期入所事業利用について、日中生活介護利用されている方の保護者が家庭等の事情により夜間介護等が行えないため利用されました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用件数・人数	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	4
利用実人数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
利用日数	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	4



## V 地域生活支援事業（日中一時支援事業）

支援実施市町村と業務契約を結び、日中一時支援事業を行いました。

日中生活介護を利用されている方の家族等の特別な事情や、一時的に介護等が行えない場合などの際に平日の時間延長としての利用や休日に利用するなどのサービス提供を行いました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用件数・人数	3	1	3	1	3	4	2	3	1	2	4	1	28
利用実人数	1	1	1	1	1	2	2	3	1	1	2	1	17
利用日数	1.25	0.25	1.0	0.25	1.5	1.5	0.5	1.5	0.5	0.5	2.0	0.25	11

## 「しあわせの里地域交流センター」の事業概要

「しあわせの里地域交流センター」は、日々の利用者の日中活動や定期実施しているエクササイズ、ボランティアの先生方を招いての文化活動に利用したり、施設利用者と、その保護者や地域の方々との交流の場として活用されています。

また、地域の方々にも様々な地域活動の場として施設を持つ資源機能を提供しています。

### 1. 利用の状況

利用区分	延べ利用件数	延べ利用人員	主な利用内容
保護者活動	12 <sup>件</sup>	441 <sup>人</sup>	家族会 ふれあい昼食会 等
地域活動	3	101	コーラス練習 敬老会 等
交流活動	3	59	サマーフェスタ招待 クリスマス会招待 理容奉仕
社会参加	12	109	ラテン de エアロ みんなの健康エクササイズ
各種研修	3	55	文理大学施設実習 四国大学施設実習 ミュージックケア研究会
各種会議	4	79	役員会 等
合計	37	844	

### 2. 広報活動

しあわせの里が発行している機関誌「しあわせ」に利用状況を掲載し、地域交流センターの活用内容について報告しました。